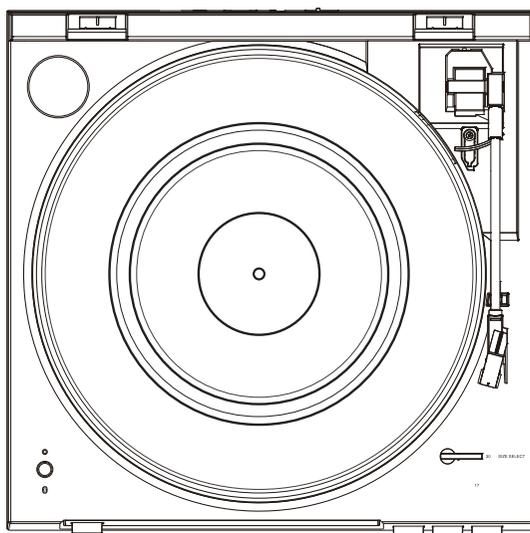


取扱説明書

FULL AUTOMATIC TURNTABLE SYSTEM CTF700BT



安全にお使い頂くために

- この度は弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。
- お読みになった後はいつでもご覧になれるように必ず保存してください。

Cosmo Techno

目 次

1	使用上のご注意	3
2	取り扱い上のご注意	7
3	本製品の特長	8
4	各部の名前とはたらき	9
5	組み立て	10
6	接続方法	11
7	オーディオケーブル接続の方法	12
8	BT ワイヤレス接続の方法	13
9	操作方法	15
10	故障かな？と思ったら	17
11	主な仕様	19

1 使用上のご注意

正しく安全にご使用いただくため、ご使用前に必ずよくお読みください。

絵表示について この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、色々な絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。



警告

■安全上お守りいただきたいこと

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く
煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。お客様による分解や修理は危険ですので絶対におやめください。



内部に異物を入れない

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。



使用上のご注意（つづき）



警告 つづき

■安全上お守りいただきたいこと

水が入ったり、濡らしたりしないように
雨天・降雪中・海岸・水辺でのご使用は特にご注意ください。
火災・感電の原因となります。



電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。
また重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コード
が破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。



キャビネット（天板・裏蓋）を外したり、改造したりしない
内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。
この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の
原因となります。



雷が鳴り出したら

電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



落としたり、キャビネットを破損した場合は

まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に
ご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



■取り扱いについて

風呂場では使用しない
火災・感電の原因となります。

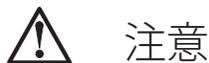


水場での使用禁止

花瓶やコップ、小さな金属物をこの機器の上に置かない
万一内部に水や異物が入った場合は、まず本製品の動作を停止し、電源
プラグ（電源アダプター）をコンセントから抜いて販売店にご連絡く
ださい。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



使用上のご注意（つづき）



注意

■安全上お守りいただきたいこと

電源コードを熱器具に近付けない

コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜くときは

電源プラグ（電源アダプター）を抜くときは電源コードを引っ張らずに必ずプラグ（アダプター）を持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器・スピーカーなどの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。



電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



■置き場所について

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所におかないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



次のような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やホコリの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ



壁や他の機器から少し離して設置する

壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



使用上のご注意（つづき）



注意 つづき

■取り扱いについて

通風孔をふさがない

内部の温度上昇を防ぐため、ケースの底部や側面などに通風孔が開けてあります。つぎのような使い方はしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いて使用する



この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼児のお子様のご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



移動させる場合は

機器の動作を停止し、必ず電源プラグ（電源アダプター）をコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。この機器をラック台などに載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



■使わないときは

長時間の外出・旅行の場合は

安全のため必ず電源プラグ（電源アダプター）をコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



■お手入れについて

お手入れの際は

安全のため電源プラグ（電源アダプター）をコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。



2 取り扱い上のご注意

結露現象について

■結露とは

冬期に暖房をした部屋の窓ガラスに水滴がつくような現象をいいます。

■結露が起こる条件は

冬期などに本製品を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、部屋の温度を暖房などで急げたりすると本製品内部の動作部に露がつき、正常に動作しなくなることがあります。結露は、夏にエアコンの風が直接当たるところでも起こることがあります。その場合には本製品の設置場所を変えてください。



■結露後の処置は

結露が起こった場合は、電源を入れてしばらく放置しておいてください。周囲の状況によって異なりますが、1～2時間で使用できるようになります。

FM や AM 放送を受信している場合

- FM や AM 放送を受信しているとき、プレーヤーの電源が入っていると FM や AM 放送の受信音に雑音が入る場合があります。このような場合には、本製品をチューナーからできるだけ離してください。

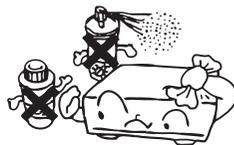


ステレオ音のエチケット

- ◎楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。
- ◎隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- ◎ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で小さくも大きくもなります。
- ◎特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。
夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。
- ◎窓を開めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
- ◎お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れをふきとるときは柔らかい布を使用し、軽くふきとってください。
 - ◎化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本製品に付着すると変質したり変色することがありますので、使用しないでください。



使わないときは

■ふだん使わないとき

- ◎外出やご旅行の場合は、必ず電源アダプターをコンセントから抜いてください。



■移動させるとき

- ◎衝撃を与えないでください。
- ◎必ずレコード盤を取り出し、電源アダプターをコンセントから抜いて、カートリッジにプロテクターを取り付けたことを確認してからおこなってください。必要に応じてトーンアームをビニタイで固定してください。



設置の際のご注意

- 放熱のため、壁から 10cm 以上離して設置して下さい。

3 本製品の特長

■BT ワイヤレス機能

ワイヤレスの通信距離はおよそ 10m。たとえば本製品をリビングに設置し、BT スピーカーをキッチンに置いて音楽を楽しみながらお料理を作ったりなど活用方法はいろいろです。

BT スピーカー M681 セットモデルご購入のお客様は今日から趣味の時間をお気に入りの音楽とともに身近で楽しめます。

■簡単操作のフルオートマチックプレーヤー

レコードをセットしてスタートボタンを押すだけの簡単操作で演奏を開始します。演奏終了後トーンアームが自動的に元の位置に戻り、ターンテーブルの回転が止まります。

手動（マニュアル）再生にも対応していますので、レコードジャケットを見ながらレコードのトラックを狙って針を落とす楽しみ方もできます。

■イコライザースイッチを装備

本製品背面のイコライザースイッチを切り換えることで、ステレオアンプと接続して本格的に音楽を楽しんだりラジカセなどと接続してお手軽に音楽を楽しんだりすることができます。

■軽量コンパクトなボディー

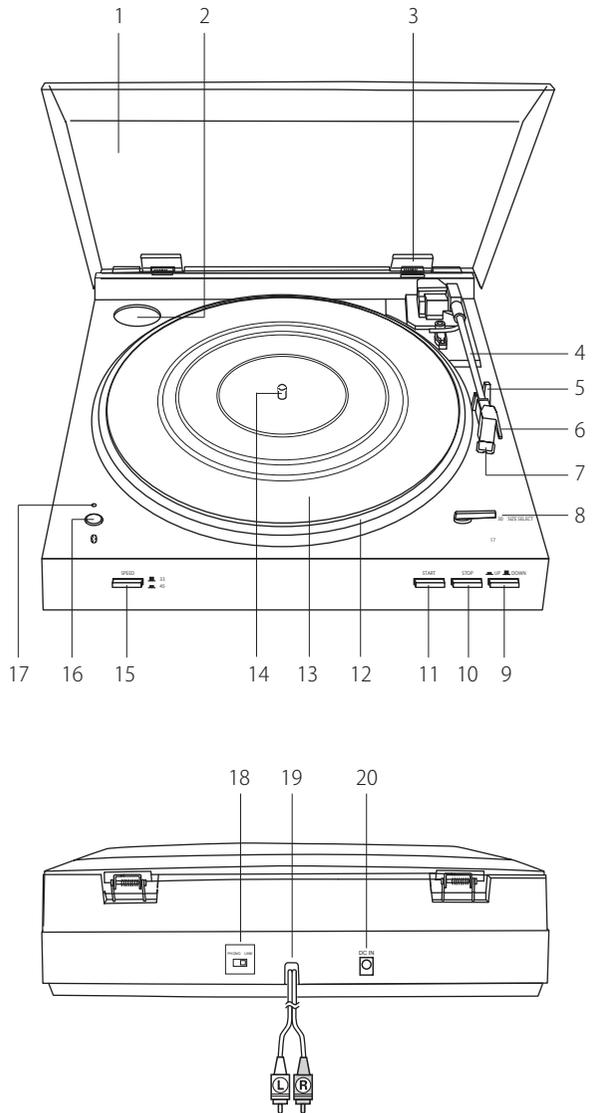
軽量コンパクトな設計ですので BT スピーカーと組み合わせ使用することにより設置する場所がさらに広がります。

 BT = Bluetooth：近距離無線通信規格の 1 つ

Memo.

4 各部の名前とはたらき

1. ダストカバー
2. 45回転アダプターホルダー
3. ダストカバーヒンジ
4. トーンアーム
5. アームレスト
6. ヘッドシェル (指かけ)
7. カートリッジ (レコード針)
8. レコードサイズ切り換えレバー (30cm / 17cm)
9. アーム **▲** UP / **■** DOWN (**▲** 上昇 / **■** 下降) ボタン
10. STOP (停止) ボタン
11. START (開始) ボタン
12. ターンテーブル
13. ターンテーブルマット
14. スピンドル
15. 速度切り換えボタン (**▲** 33-1/3rpm / **■** 45rpm)
16. BT ボタン
17. BT 状態表示 LED
18. イコライザースイッチ (フォノ/ライン切り替え)
19. ピンプラグオーディオケーブル (オーディオ信号出力)
20. DC IN 端子



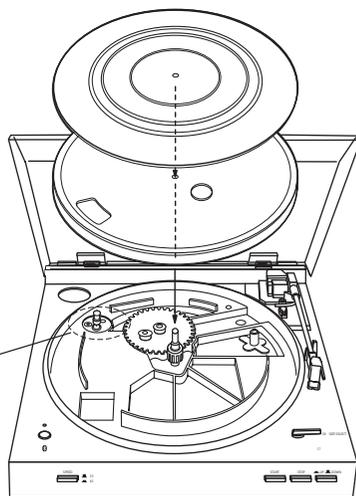
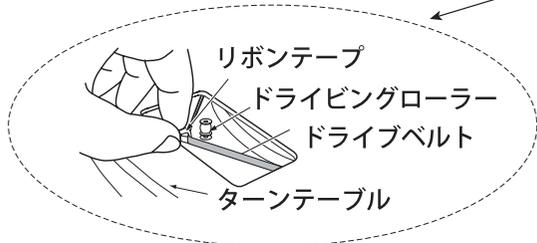
■電源スイッチについて

このプレーヤーには電源スイッチはありません。「START」ボタンを押すか（自動演奏）、トーンアームを移動すると（手動演奏）自動的に電源が入り動作を開始します。演奏終了後、トーンアームが自動的にアームレストに戻ると、プレーヤーの電源が切れます。ただし、この場合でも微弱な電流が流れていますので、長時間プレーヤーをご使用にならないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。

5 組み立て

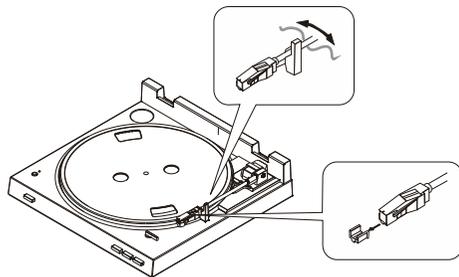
■組み立て時の注意

- 組み立てが終わるまで AC アダプターの出力を本製品に接続しないでください。
- プレーヤーを組み立てる時にターンテーブル裏側内部に取り付けられているドライブベルトを傷付けないよう注意して取り扱ってください。
- トーンアームクランプ用ビニタイはターンテーブル組み立て後に取り外します。取り外した状態で作業をするとトーンアームが動いてカートリッジなどを破損する恐れがあります。その他の梱包材は全部取り、ダストカバーを開けて組み立てます。



■組み立て方法

1. 梱包箱から本体をパッキン付きで取り出してからパッキンを取り外します。
2. ターンテーブル外側の穴でターンテーブルを持ち、中央の穴にセンタースピンドルが入るように静かに降ろします。外側の穴の一つがドライビングローラーのところにくるまで回転させてください。(イラスト参照)
3. ドライブベルトとリボンテープがターンテーブルの裏に取り付けられています。外側の穴からターンテーブルの裏側に巻かれているドライブベルトのリボンテープを持ってそっと伸ばし、ドライビングローラーの外側にかけてください。(取り付け後、リボンテープは取り除きます。) ドライブベルトにねじれがないこと、ドライビングローラーのツバにライブベルトが乗り上げたりしていないことを確認します。ドライブベルトを正しく取り付けるためにターンテーブルを5～6回ゆっくり回転させてください。
4. ターンテーブルマットをターンテーブルの上に置いてください。
5. トーンアームを固定しているビニタイを取り外します。
6. カートリッジ針先を保護しているプロテクターを取り外します。



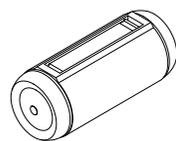
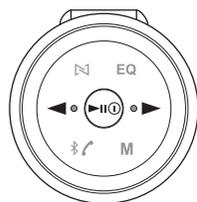
6 接続方法

本製品は、BT ワイヤレス接続により離れた場所の BT スピーカーに接続したり RCA オーディオケーブルで直接ステレオアンプに接続しレコード再生を楽しむことができます。

■BT ワイヤレス接続

BT スピーカー M681 セットモデルご購入のお客様は、次の簡単なステップでレコードのワイヤレス再生をお楽しみいただけます。

1. 付属の AC アダプターを家庭用 AC 電源コンセントに差し込みます。
2. M681 の  ボタンを長押しします。スピーカーは「Bluetooth モード (Bluetooth Mode)」と音声案内します。(ペアリング待機)
3. 本製品上面左側にある BT ボタンを約 2 秒間押し続けます。BT 状態表示 LED が赤色と青色で交互に点滅します。(ペアリングモード)
4. ほどなくスピーカーは「デバイスペアード (Device paired)」と音声案内します。本製品の BT 状態表示 LED は青色 (もしくは紫色) で連続点灯します。(接続完了)
5. レコードをターンテーブルにセットします。
6. 速度切り替えボタンでレコード回転数を合わせ、レコードサイズに合わせて切り換えレバーを合わせます。
7. 本製品前面の START (開始) ボタンを押します。
8. M681 の  ボタン長押しで音量は下がり、 ボタン長押しで音量は上がります。



*一度ペアリングすると次からは自動で接続されます。

BT を使用する場合は、「8. BT ワイヤレス接続の方法」の項目を参照してください。

■有線接続

RCA オーディオケーブルで本製品と外部機器を接続する前に、接続する外部機器の取扱説明書も参照することをお勧めします。

*ステレオアンプなどの配線を別の接続に変更する前に必ず外部機器の電源は切ってください。

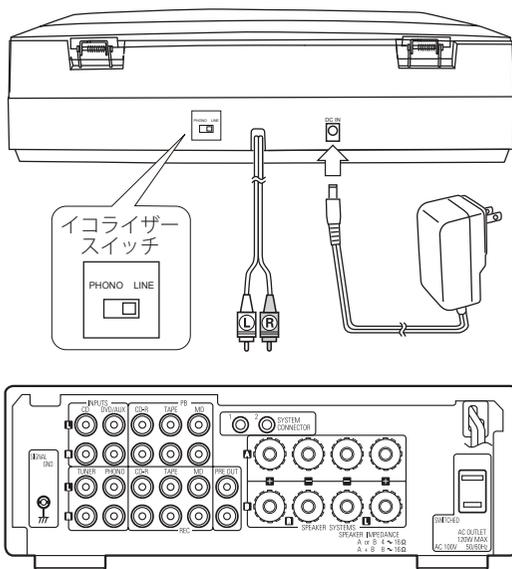
有線接続の方法は「7. オーディオケーブル接続の方法」を参照してください。

7 オーディオケーブル接続の方法

■ステレオアンプへの接続

- 本製品を接続する機器の電源スイッチを切ってください。本製品の電源プラグはすべての接続が終わるまではコンセントに差し込まないでください。
- 本製品のピンプラグをステレオアンプなどの入力端子に接続します。
- 外部機器の入力端子の種類によって本製品背面のイコライザースイッチを切り換えて使用します。下記「イコライザースイッチについて」を参照してください。
- すべての接続が正しいことを確認してから、付属の AC アダプターをアンプの AC コンセントまたは家庭用 AC 電源コンセントに差し込みます。

*電源コードを接続したときに、プレーヤーが動作し始めた場合は、「STOP」ボタンを一度押してください。

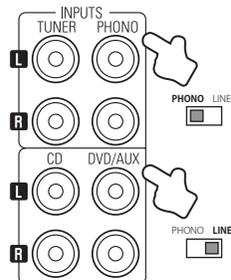


■イコライザースイッチについて

この製品にはイコライザーが内蔵されています。接続して使用する機器の入力端子によって、背面のスイッチを次のように切り換えて使用してください。

PHONO: ステレオアンプなどの「PHONO」入力に接続する場合に設定します。内蔵イコライザーは使用しないでステレオアンプのイコライザーを使用する設定です。カートリッジの信号がそのまま出力されます。

LINE : その他の入力端子「AUX」やラジカセなど、イコライザーを持たない機器と接続する場合に設定します。本製品の内蔵イコライザーを経由した信号が出力されます。



【注意】

- *イコライザースイッチが正しくセットされていないと、音が極端に小さかったり歪んだりします。
- *接続機器の入力端子が 3.5mm ステレオジャックの場合には、別途市販の 3.5mm ステレオミニプラグ→RCA ピンジャック変換アダプターが必要になります。

8 BT ワイヤレス接続の方法

本製品は Bluetooth ワイヤレス接続機能を内蔵しています。Bluetooth 対応のヘッドホン、アクティブスピーカー、ワイヤレスステレオスピーカー（以下、Bluetooth レシーバーデバイスと呼びます）と接続できます。

ペアリングについて

新しい Bluetooth レシーバーデバイスを接続するときは本製品とペアリングする必要があります。ペアリングとは BT 機器同士お互いを認識させる作業のことを言います。Bluetooth レシーバーデバイスと本製品をペアリングしたら、再度ペアリングする必要はありません。ただし、以下の場合 Bluetooth レシーバーデバイスが一度ペアリングされていても再度ペアリングする必要があります。

- Bluetooth レシーバーデバイスの接続履歴から本製品を削除した、あるいは削除されていた場合。
- 本製品が修理のために発送された場合。
- 9 台以上のデバイスがペアリングされている場合。（本製品は最大 8 台のデバイスのペアリング情報を保存できます。8 台のデバイスとペアリングした後に新しいデバイスとペアリングすると、最も古い接続日付を持つデバイスのペアリング情報は新しいデバイスの情報で上書きされます。）

BLUETOOTH デバイスのペアリング

■ペアリング前

- 初めて接続するには本製品と Bluetooth レシーバーデバイスをペアリングします。
- Bluetooth レシーバーデバイスのユーザーマニュアルをお読みください。
- Bluetooth レシーバーデバイスを本製品から 1 m 以内に置いてペアリングを正しく実行します。

■ペアリング方法

1. Bluetooth ヘッドフォン、スピーカーなどをペアリングモードに設定します。
2. AC アダプターがコンセントに接続されていることを確認してから、本製品上面左側にある BT ボタンを約 2 秒間押し続けます。BT 状態表示 LED が赤と青で交互に点滅します。
3. ペアリングが完了すると、BT 状態表示 LED が青または紫に連続点灯し機器同士ワイヤレス接続されている状態であることを表示します。製品は 3 分間ペアリングモードのままです。ペアリングが正常に完了しない場合は、上記の手順を最初からやり直してください。

■ペアリング履歴クリアの方法

1. BT ボタンを 10 秒間長押しします。ペアリング履歴をクリアすると BT 状態表示 LED が 3 回赤く点滅します。
2. クリアが完了すると、本製品は自動的にペアリングモード（赤と青で交互に点滅）に入ります。

9 操作方法

■自動再生の操作

1. ダストカバーを開けて、レコードをターンテーブルの上に置いてください。(EPレコードを再生するときは45回転アダプターを使用してください。)
2. レコードの再生スピードに合わせて速度ボタンをセットしてください。
33-1/3 回転レコード：  33 にセット
45 回転レコード：  45 にセット
3. レコードサイズに、切り換えレバーを合わせてください。
4. プロテクターを取り外してください。
5. 「スタート」ボタンを、少なくとも1秒間しっかりと、押してください。

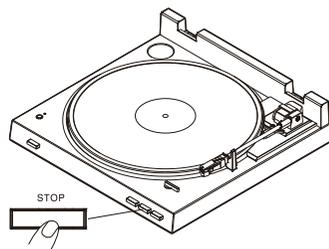
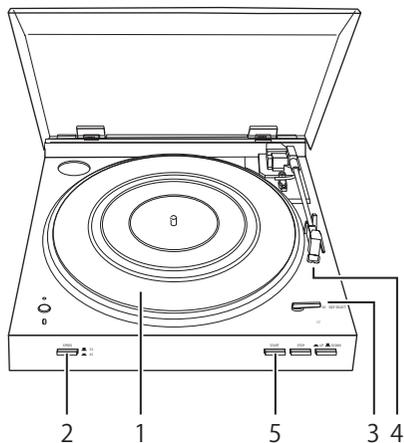
* ターンテーブルが回転を始め、自動的に再生が始まります。レコード再生がすべて終了すると、トーンアームが元の位置に戻り、ターンテーブルの回転が自動的に止まります。

* 再生中に停止するにはSTOPボタンを押します。再生が止まりトーンアームが元の位置に戻ります。

* トーンアームが自動的に戻るときに、トーンアームを手動で停止しないでください。

* ターンテーブルは手動で回転または停止しないでください。

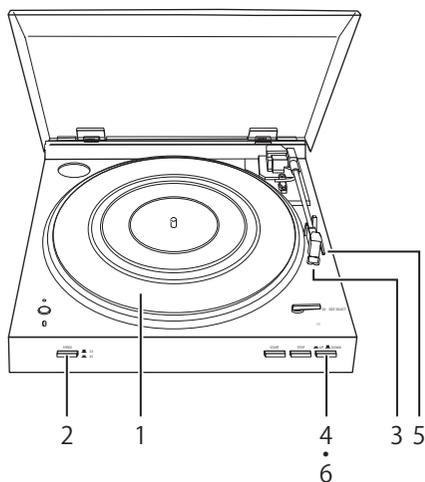
* 曲がったレコードを再生すると、レコードと針が損傷する可能性があります。



■手動（マニュアル）再生の操作

1. ダストカバーを開けて、レコードをターンテーブルの上に置いてください。(EPレコードを再生するときは45回転アダプターを使用してください。)
2. レコードの再生スピードに合わせて速度ボタンをセットしてください。
33-1/3 回転レコード：  33 にセット
45 回転レコード：  45 にセット
3. プロテクターを取り外してください。
4. アームUP / DOWN ボタンを  UP にセット
5. 指かけを持って、トーンアームを再生したいトラックの開始点の上に移動します。
6. アームUP / DOWN ボタンを  DOWN にセットするとアームが下降し再生が始まります。

* アームが下降状態のときにアームを移動する際は、レコードに傷をつけないよう注意してください。



9 操作方法 (つづき)

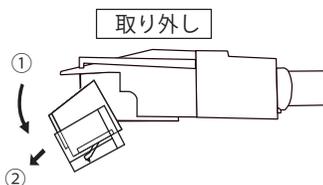
■レコード針の交換

付属の針の寿命は約 400 時間です。大切なレコードをいためないよう、早めに交換してください。交換針は ATN3600L が使用できます。

*針を交換する前にアンプのボリュームを最小にし、プレーヤーの電源プラグをコンセントから抜いてください。

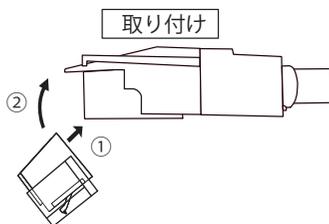
1 交換針の取り外し方

一方の手でカートリッジを支え、他方の手で交換針を持ち、矢印①の方向に押し下げてから矢印②の方向にやさしく引き抜いてください。



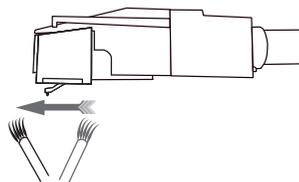
2 交換針の取り付け方

一方の手でカートリッジを支え、他方の手で交換針を持ち、交換針の引っ掛け部分を矢印①の方向に向けてカートリッジ本体の長穴の奥に入れた後、矢印②の方向にパチンというまで押し上げてください。



■針先の清掃

- ・スタイラスチップにごみや汚れが付着した場合は、市販のブラシできれいにしてください。
- ・ブラシは必ずレコードの進行方向に動かしながら使用してください。
- ・スタイラスチップの汚れがひどい場合は、スタイラスクリーナー（別売）を使用することをおすすめします。



■自動演奏システムについて

- 演奏中は、トーンアームやターンテーブルに触れたり、電源を切ったりしないでください。
- オートリターンはレコード演奏終了後特定のポイントで、トーンアームを戻すようにセットされています。普通のサイズのレコードについては問題ありませんが、一部このポイントまで音の溝が続いているタイプのレコードについては、オートリターン機能が働いてしまいます。
- 25cm レコードは自動演奏システムを使用することができません。このレコードについては、手動で操作してください。また、演奏終了後もトーンアームが戻らない場合は、「STOP」ボタンを押してください。

10 故障かな？と思ったら

故障？と思っても、もう一度確かめてみましょう。

- 接続は正しいですか
- 本製品および接続機器の取扱説明書に従って正しく操作していますか

●START ボタンを押してもトーンアームが動かない

- 電源コードが正しく接続されていない ⇒ 電源アダプターを DC IN 端子とコンセントにしっかり挿しなおしてください。
- トーンアームが固定されている ⇒ 固定しているピニタイを取り外す。

●音が出ない

- ピンプラグの接続場所を間違えている ⇒ 正しく接続してください。
- ステレオアンプの入力が合っていない ⇒ 入力端子に合わせて選んでください。
- 音量が最小または消音になっている ⇒ 接続先の音量ボタンで音量を調節してください。
- 交換針が正しく取り付けられていない ⇒ 正しい位置にあるか確認してください。

●スクラッチノイズが生じる、針が飛ぶ、歪んだ音がでる

- 針またはレコードが汚れている ⇒ 針の汚れはスタイラスクリーナーで、レコードの汚れはレコードクリーナーでお手入れしてください。
- 針が摩耗している ⇒ レコード針を交換してください。

●ハウリングが生じる

- プレーヤーがスピーカーに近すぎたり、不安定な場所に置かれていませんか
⇒ 本製品は安定した振動のない水平面に設置してください。ゴム足は本製品を過度の振動から隔離するように特別に設計されています。

●回転数は合わせたのに音楽のピッチ（音程）がおかしい

- ドライブベルトの位置がずれている ⇒ ドライビングローラーの正しい位置にベルトがあることを確認してください。



●M681 と接続できなくなった

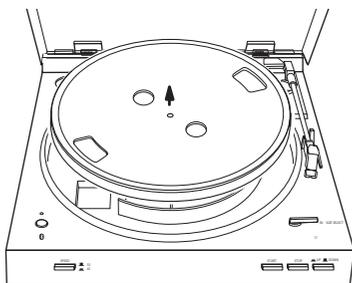
M681 が他の BT 機器たとえばスマートホンと接続中の場合には本機との接続はできません。他の BT 機器を操作し接続を解除してください。M681 を操作して接続を解除することもできます。M681 は最後に接続した BT 機器と自動的に接続します。M681 の  ボタンを長押しすると現在の Bluetooth 接続が切断されます。スピーカーから「Device disconnected (デバイスが切断されました)」と音声案内されます。M681 が他の BT 機器との接続を切断すると本製品は M681 を見つけて自動的に接続し「Device paired (デバイスはペアリング済)」と M681 が音声案内します。本製品の BT 状態表示 LED は青色（もしくは紫色）で連続点灯します。（接続完了）

故障かな？と思ったら（つづき）

●ターンテーブルが回転しない

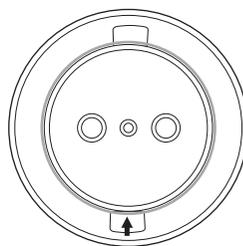
ドライブベルト、ドライビングローラーを確認してください。ドライブベルトがターンテーブルから外れているときは、次の手順で取り付けてください。

1



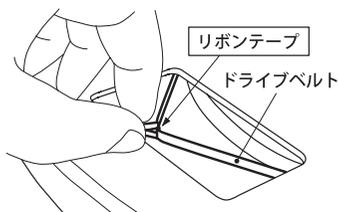
ターンテーブルを外し裏返す

2



内部の円周にベルトを掛ける

3



ターンテーブルを表にして
穴からターンテーブルとド
ライブベルトの間にリボン
テープを通す。

4

10ページの「組み立て方法」
を参照してターンテーブルを
取り付けてください。

参照しても解決しない場合は巻末にある
お問い合わせ窓口までご連絡ください。

11 主な仕様

- | | |
|---|---|
| 1. 製品 | 全自動ワイヤレスターンテーブルシステム |
| 2. 一般セクション | |
| 電源 | AC 100 ~ 240 V、50 / 60 Hz
DC 12 V / 2 A (アダプター) |
| 寸法 | 350 (W) x 347 (D) x 95.5 (H) mm |
| 重量 | 2.6 kg |
| 3. 標準条件 | 周囲温度 23 +/- 2 °C
相対湿度 65 +/- 5 % |
| 4. ターンテーブルセクション | |
| タイプ | 2 スピードフルオート |
| モーター | DC モーター |
| 駆動方式 | ベルトドライブ |
| ターンテーブルプラッター | 直径 296 mm。アルミニウム |
| 速度 | 33-1/3 および 45 rpm |
| ワウフラッター | 3 kHz で 0.25% (WTD) 未満 (JIS) |
| S/N 比 | 50 dB 以上 (DIN-B) |
| 速度許容誤差 | 3000 Hz +3%、-2% |
| 5. トーンアームセクション： | ダイナミックバランスストレート型アーム、
タイプ ソフトダンピングコントロール付き |
| 有効アーム長 | 195 mm |
| トーンアームリード - インポイント | |
| 17cm | レコードの中心から 85 mm 以内で動作 |
| 30cm | レコードの中心から 147.3 mm 以内で動作 |
| トーンアームリターンポイント | レコードの中心から 54 mm と 62 mm の距離内で動作 |
| トラッキングフォース | 3.5 +/- 1.0 g |
| 6. カートリッジセクション： | |
| タイプ | ムービングマグネットカートリッジ (AT3600LA) |
| スタイラス | ダイヤモンドスタイラス (交換針：ATN3600L) |
| 出力電圧 | A. イコライザに接続
1 kHz 5 cm/sec で 94 ~ 228 mV
B. イコライザなしで接続
1 kHz 5 cm/sec で 1.5 ~ 3.6 mV |
| チャンネルセパレーション | 1 kHz で 15 dB 以上 |
| チャンネルバランス | 1 kHz で 2.5 dB 以内 |
| 7. BLUETOOTH セクション： | |
| BT Module / Chip set number | BM880 (Sunitec) / CSR8670 |
| BT バージョン | Bluetooth Ver4.2 |
| 出力電力 | クラス 2 (0 ~ 4 dBm、2.5 mW) |
| 最大通信範囲： | 約 10m |
| 動作周波数 | 2400 ~ 2480 MHz |
| 変調方式 | GFSK、 π / 4-DQPSK、8DPSK |
| 互換性のある BT プロファイル | A2DP |
| コーデック | SBC、aptX をサポート |
| 8. 付属品： | |
| 取扱説明書 x1、電源アダプター x1、45 回転アダプター x1、ヒンジ x2、ダストカバー x1、
ターンテーブルマット x1、ターンテーブル + ドライブベルト x1 | |
| 9. 注意事項 | |
| (1) 仕様は改善される場合があります。 | |
| (2) 部品は仕様の範囲内で変更されることがあります。 | |

●保証書について

保証書は必ず「販売店名、お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管して下さい。保証期間はご購入日から1年間です。

●故障した場合は

保証期間内に正常な使用状態（取扱説明書、安全上のご注意にしたがった使用状態）で故障した場合は、製品を無償修理いたします。詳しくは保証書の保証規定をお読みください。

接続・取付・使用上の誤りにより接続した機器や本機が破損した場合は、弊社で保証・責任は負いかねますのでご了承ください。

保証書 FULL AUTOMATIC WIRELESS TURNTABLE SYSTEM CTF700BT

お名前 様	電話番号 ()
ご住所 〒	
お買い上げ日 年 月 日	取扱販売店名・住所・電話番号
保証期間 お買い上げ日より 1年間	

販売店欄に押印等がない場合は、お買い上げの履歴が分かる伝票等と保証書を一緒に保管をお願いいたします。

〈保証規定〉

- 保証期間内に取扱説明書にしたがった使用状態で故障した場合には、無償修理いたします。
- 転居、贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店にご依頼できない場合には、弊社へご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障および損傷
 - (ロ) お買い上げ後の落下等による故障および損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧等による故障および損傷
 - (ニ) 一般家庭以外（例えば、業務用の長時間使用、車輛・船舶への搭載等）
 - (ホ) 本機を分解された場合
 - (ヘ) 保証書の文字を書きかえられた場合
 - (ト) 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

※この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、およびそれ以外の事業者にたいするお客様の権利を制限するものではありません。

株式会社 コスモテクノ

〒194-0021
東京都町田市市中町1-15-11 U&Eビル 3F
http://cosmotekno.co.jp

お問い合わせ先 電話番号

050-3537-8730

受付時間

月曜～金曜 10:00～17:00

※土曜・日曜・祝日・弊社休業日を除く

e-mail : inquiry-user@cosmotekno.co.jp